異議申し立ての権利について

カリフォルニア州の年間ライセンス保持者または申請者として...

大麻取締局（Department of Cannabis Control：DCC）が以下のような不利な決定を下した場合、異議を申し立てる権利があります。

- 年間ライセンス申請の却下。
- ライセンスの停止、剥奪、取り消し。
- ライセンスの保留。
- 営業時間の制限、コンプライアンスに関する報告など、ライセンスへの条件適用。
- ライセンスに対する罰金または罰則の適用。

年間ライセンスに対する決定に異議を申し立てられるかどうかわからない場合は、弁護士にご相談ください。

大麻取締異議申し立てパネル（Cannabis Control Appeals Panel：CCAP）とは

CCAPは、DCCの決定を審査する権限を持つ準司法的なパネルです。パネルは、知事と立法府によって任命され、異議申し立て案件を審査する審判の役割を果たします。

異議を申し立てるにはどうすればよいですか?

CCAPのウェブサイト（**www.ccap.ca.gov**）で、異議申し立て手順のチェックリスト、法律用語集、異議申し立てを開始するために必要なフォームをご覧ください。異議申し立て手続きの開始、陳述、審議、その他の手続き上の質問などに関する、よくある質問（FAQ）のコーナーもあります。

異議を申し立てるとどうなりますか?

DCCの決定は異議申し立てが終了するまで保留されます。CCAPは、懲戒の法的根拠と、そのケースに関連する提出されたすべての証拠を検討し、決定を下します。CCAPはDCCの決定を覆し、ライセンスまたはライセンス申請に対する処分を取り消す場合があります。反対に、CCAPはDCCの決定を支持し、懲戒処分やライセンス申請の拒否を維持する場合もあります。

質問がある場合は、どこに連絡すればよいですか?

CCAPのスタッフは、異議申し立て手続きに関する基本的な質問にはお答えしますが、法的な助言はできかねます。CCAP事務局への連絡は、電話（**(916) 322-6870**）またはメール（**info@ccap.ca.gov**）でお問い合わせください。

より複雑な質問、またはあなたのケースの是非に関する質問については、カリフォルニア州大麻ライセンス法に関する知識を持つ弁護士にご相談ください。

www.ccap.ca.govにアクセスするか、上記のQRコードをスキャンしてください。

CANNABIS CONTROL APPEALS PANEL